



2023年11月13日

各 位

会 社 名 株式会社多摩川ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 榊沢 徹
(東証スタンダード・コード6838)
問合せ先 経営企画部 山内 加奈
電話番号 03-6435-6933

(開示事項の経過)

東京大学にてマイクロセルアレイを用いた量子センシングの実証成功および
量子暗号通信用デバイスに関する学会発表のお知らせ

この度、当社は、2023年10月10日付「東京大学にてマイクロセルアレイを用いた量子センシングの実証成功と学会発表のお知らせ」および2023年10月31日付「量子暗号通信用デバイスに関する学会発表のお知らせ」にてPR情報として公表いたしましたとおり、第40回センサ・マイクロマシンと応用システムシンポジウムにて、量子暗号通信用デバイスの開発に関して発表いたしました。具体的な発表内容については、量子センシングおよび量子暗号通信事業2件の合計3件の発表を行いました。

1. 学会概要



左図：開催場所の熊本城ホール、右上：学会の様子、右下図：熊本城

開催地の熊本では、大手半導体メーカーが進出し、世界的にも注目されています。その熊本での発表は、テーマとして、半導体との融合デバイスから、最先端半導体を駆使した人工知能のアプリケーションについての議論が多くありました。また、SDGsに向けた環境にやさしい先端マイクロデバイスも大きく注目されました。

半導体は、主に量子の分野です。その半導体のように大きな市場として期待されているのが、量子コンピュータであり、量子センシング、そして、量子暗号通信です。これらは、今後、市場の拡大が期待されており、マイクロデバイスでは、半導体と融合した付加価値の高い製品が期待されています。

当社は、半導体製造技術を利用し、通信機器等の従来製品を超小型にすることで、低消費、低コスト化を実現し、量子デバイスの市場獲得を進めております。今回の学会でも、多くの専門家との意見交換や企業関係者との交流があり、今後の事業展開が大きく推進されると期待されました。

2. 発表情報

学会名：第40回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム

日程：2023年11月6日（月）～9日（木）

場所：熊本城ホール（熊本県）

発表番号：7P2-PS-30, 8P2-PS-4, 8P2-PS-12

学会 URL：<https://sensorsymposium.org/>

時代や社会のニーズが大きく変化する中、当社は新たな課題やニーズを見つけ、既存の領域から新しい領域に拡大することで、事業拡大を目指しております。今後も「通信」・「エネルギー」・「宇宙」分野でソリューションを提供することで、「脱炭素社会」の実現に貢献して参ります。

以上